



社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 このみ坂保育園

ほけんだより

R8.6.1

看護師 古川 睦美

園庭では、元気いっぱい遊んだり、お散歩を楽しんでいる子どもたちの姿や声が賑やかに響いています。梅雨入りはまだですが、湿気を好むウイルスや細菌が増え食中毒になる危険性があったり、天候も変わりやすく体調を崩しやすい時期でもあります。手洗いうがいの習慣を身につけて、毎日の体調の変化に気を配っていきましょう。

歯と口の健康週間（6/4～6/10）

～歯みがきは体を守る最前線～

◎熊本県の子ども(乳幼児期)のむし歯の状況は、非常に悪く、最新の報告（令和3年度）では1歳6ヶ月児では全国ワースト3位、3歳児では全国ワースト2位となっています。

お子さんの健康な歯をつくるために

☆むし歯菌は、家族等から唾液などを通してうつります。お子さんに食べさせるスプーンやフォーク、箸、コップ等の食器の共有はやめましょう。

☆甘いおやつや飲み物をとる回数を減らしましょう。（1日2回まで）

☆乳歯はむし歯になると、口の中でむし歯菌が増え、生えかわった永久歯もむし歯にかかりやすくなります。毎日、保護者の仕上げみがきをしましょう。（フッ化物配合歯磨剤を推奨）

☆歯が生えたら年に2～4回、フッ化物塗布を受けましょう。

☆ご飯を食べる時は、しっかりと噛んで食べる習慣を付けましょう。肥満予防となるだけでなく、唾液がたくさん出ることで口の中を洗い流し、むし歯を防いでくれます。



※6/3（水）13時から歯科健診があります。出来る限り登園お願いします

とびひ＆水いぼの治療はお早めに

◎アトピー性皮膚炎や虫刺されを掻き壊して感染を起こしてしまうと「とびひ」となります。また、掻いた手で他の所に触ると菌がついて水疱になって「とびひ」は広がってしまいます。

◎「水いぼ」も「とびひ」同様、掻き壊すとウイルスが指につき、そこからどんどん広がっていきます。



☆「とびひ」がある間はプールには入れませんので、早めの治療をおすすめします！

☆治療の方法は、内服治療、病院で除去してもらう、塗薬、そのまま様子を見る保存的方法などがあります。保存的方法では多少かゆみが伴いますが、1～2年ほどで自然に治っていきます。ただし集団生活の中で感染源となる可能性がありますので、患部を衣類で覆いお友だちに広めないように爪をこまめに切り、掻かないように日頃からお手入れを行いましょう。

<5月の感染症状況>

ひかり・・・発熱	3名	水ぼうそう	1名
にじ・・・風邪	2名	発熱	6名
そよかぜ・・・溶連菌	1名	発熱	1名
		風邪	1名
		胃腸炎（疑い）	2名
アップル・・・発熱	2名	手足口病	1名
チェリー・・・ヘルペス性歯肉口内炎	1名		
		ヒトメタニューモ感染症	1名
		溶連菌	1名
		発熱	1名
オレンジ・・・発熱	1名	溶連菌	1名